

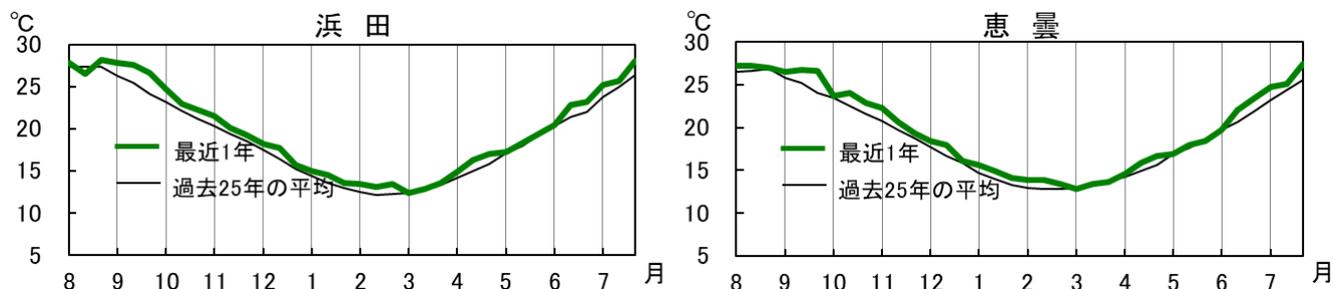


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《7月の海況》



7月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	26.4℃	+1.3℃	かなり高め	25.8℃	+1.4℃
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	やや高め			かなり高め		



## 《7月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の2割、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではサバ類、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は38.4トンで平年の9割でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は1,187トンで平年の1.9倍、ウルメイワシは1,082トンで平年の4割でした。一方、ブリは229トンで平年の1.4倍、マアジは137トンで平年の2割でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は139.3kgで平年の1.8倍でした。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は55.5kgと、平年の4割ほどの水揚げでした。

## 【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は1.4トンで平年の1.2倍でした。エッチュウバイの漁獲量は20.2トンで平年の7割、銘柄別では「中」「中大」及び「大」の3銘柄で全銘柄の9割弱を占め、特に「中大」は7.3トンで平年の8割、「大」は7.1トンで平年の8割でした。

## 【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は364kgで平年の3割ほどの水揚げでした。魚種別の漁獲量の動向は、シイラが平年の1割、ヒラマサが平年の1割でした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ヒラマサ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は18.7トンで平年の7割でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、ヒラマサ、イサキは平年の1.0倍でした。石見地区ではサバ類、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.3トンで平年の5割でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、イサキは平年の7割でした。隠岐地区ではサバ類、ヒラマサ、スルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は21.7トンで平年の1.5倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の10.1倍、ヒラマサは平年の2.7倍、スルメイカは平年の9.9倍でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、サワラ類、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.4kgで平年の1.0倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の3割、サワラ類は平年の2.2倍でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.1kgで平年の1.1倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。隠岐地区では、スルメイカ、ヒラマサ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.7kgで平年の1.1倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の9割、ヒラマサが平年の5.0倍でした。

【令和6年7月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類、ウルメイワシ	2,652トン	43%	45%	38.4トン	75%	94%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	8.1トン	160%	121%	139.3kg	201%	178%
	西郷	スルメイカ	9.4トン	80%	38%	55.5kg	71%	35%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	20.9トン	64%	63%	1.4トン	114%	124%
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	2.9トン	90%	6%	364kg	135%	32%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ヒラマサ、イサキ	243トン	99%	72%	18.7トン	99%	72%
	石見	サバ類、イサキ	41.3トン	73%	51%	10.3トン	73%	51%
	隠岐	サバ類、ヒラマサ、スルメイカ	65.1トン	218%	154%	21.7トン	218%	154%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、サワラ類、キダイ	23.7トン	68%	59%	21.4kg	110%	101%
	石見	ケンサキイカ	30.1トン	78%	68%	20.1kg	112%	106%
	隠岐	スルメイカ、ヒラマサ、ブリ	13.5トン	67%	54%	22.7kg	110%	111%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ